

キラキラ WEB 教室@home

肢体不自由等のある幼児とその保護者を対象とした教室です。

第11回 医療的ケアにおける災害時の備え

1 非常時用備蓄物品の例（量についてはそれぞれの日頃のケアの状況に合わせて決めています。）

経管栄養

栄養ボトル、栄養チューブ、接続チューブ、シリンジ、イオン水、水、栄養剤、S字フック（栄養ボトルを掛ける際にあると便利）等

吸引・吸入

吸引チューブ、注射用水（携帯できるもの）、アルコール綿、人工鼻、カニューレ、生理食塩水（携帯できるもの）等

導尿

トラトンカテーテル、清浄綿（個包装）、潤滑剤、おむつ等

※ ケアの内容にかかわらず、感染症予防・衛生管理のために手指消毒液や使い捨て手袋、紙コップやポリ袋も一緒に準備しておくとい良いでしょう。

※ 服薬や坐薬の使用がある場合には、薬とお薬手帳も忘れずに持ち出せるようにしておきましょう。



非常時用備蓄物品をスムーズに持ち出して避難できるように、リュック等にひとまとめで、目に付く場所、取り出しやすい場所に置くようにするとよいでしょう。また、外側に、非常時に持ち出す物品であることや誰のものであるかの表示を付けておくことで、支援者も一目で分かります。また、かかりつけ医、保護者の連絡先、実施しているケアの内容等を記載したメモも準備し、物品と併せて入れておくとい良いでしょう。

2 停電時のための備えの例

- 十分に充電された予備バッテリーを常に準備しておく。
- 医療機器の機種、メーカー、消費電力（W）、電流（A）、電圧（V）、バッテリーが内蔵されているか、バッテリーでの作動時間、シガーライターコードが付いているか、前回バッテリーを交換した年月日等を確認しておく。なお、停電時の対応や連絡先についての情報を業者やメーカーに聞いて確認するとよいでしょう。
- 予備の携帯用酸素ボンベやアンビューバッグを準備しておく。
- 電気を使わない方法での対応は可能か確認しておく。例えば、発電機での対応や電力がなくても使用することができる吸引器やシガーライターコード等で対応する方法があります。



足踏み式吸引器



手動式吸引器



シリンジを使用した吸引



シガーライターコード



相談専用携帯 080-7307-7175

第12回担当：医療的ケア実施管理委員会

こちらから各講座をご覧くださいませ→

